

江戸東京博物館史料叢書 4

四谷塩町一丁目 町入用

東京都江戸東京博物館
都市歴史研究室編

目次

1	安政三年（一八五六）「町入用押切帳」	1
	―安政三年（一八五六）正月～文久二年（一八六二）九月―	
2	文久二年（一八六二）「町入用押切帳」	146
	―文久二年（一八六二）十月～明治二年（一八六九）二月―	
3	万延二年（一八六一）「く組入用押切帳」	291
	―万延二年（一八六一）正月～十二月―	
	解説	304
	近松鴻二	

凡 例

- 一 本書は、東京都江戸東京博物館所蔵石井良助氏収集古文書のうち、四谷塩町一丁目（現新宿区本塩町）の安政三年（一八五六）「町入用押切帳」（資料番号九〇三七三三四三八）、文久二年（一八六二）「町入用押切帳」（同九〇三七三三四〇）、万延二年（一八六一）「く組入用押切帳」（同九〇三八一四一九）を翻刻したものである。
- 一 翻刻にあたり、原本の様式を残すようにつとめたが、編集の都合により、原本の体裁を損なわない程度に、つぎのようにした。
 - 1 文中に適宜、読点（、）および並列点（・）を加えた。
 - 2 漢字は当用漢字・常用漢字にあるものは、原則としてこれを用い、ないものは正字を用いた。
 - 3 宛字・誤字・衍字はそのまま表記して、右傍に（マ、）（衍カ）を付した。正しい文字がわかる場合は、右傍に（一カ）と記した。
 - 4 変体仮名は、同音の平仮名にあらためた。ただし、方向を示す「〇〇江」の「江」は「へ」に改めた。また、「ヶ所」「ヶ月」のヶは残した。
 - 5 合字は平仮名に改めた。ただし、メは残した。
 - 6 欠損、または判読不明の文字は、□□：（字数分）、「」（字数不明）で示し、蝕損などは右傍に（虫損）（破損）と記した。
 - 7 踊り字は、漢字は々、平仮名は、片仮名は、を用いた。大

返しは、「く」(字数分)を用いた。

- 8 原文中の行間の補記は、原則として本文中に繰り入れた。
 - 9 意味不明箇所については、右傍に（マ、）を付した。
 - 10 地名については「角川日本地名大辞典」（角川書店）、寺名については「柳営補任」、「維新史」別巻によって確認した。確認できなかった地名、寺名、人名については右傍に（マ、）を付し、誤記と思われる場合は、正しいと思われる地名、寺名、人名を右傍に（一カ）と示した。
 - 11 朱書は、その文言の前後に*を付した。
 - 12 印形は、形により㊦・㊧、割印は印・印とした。
 - 13 後筆については判断困難なものがあるため、特に注記を行わず、原文通りの位置に示した。
 - 14 () のないルビは、原文の振り仮名である。
- 一 巻末には本書の解説を付した。
- 一 編集には、北原進（当館都市歴史研究室長）・小澤弘（同教授）・林玲子（同元教授・一九九九年三月まで在籍）・近松鴻二（同歴史研究科長）・岩橋清美（同専門研究員）があたり、林貞栄（同嘱託）、佐藤千織・水野僚子・松井美奈古・伊比裕子の協力を得た。
- 一 なお、当館では、石井良助氏収集古文書のうち、本「町入用」を含む四谷塩町一丁目関係文書を、マイクロフィルムによる閲覧を実施しているので併せて利用いただきたい。

江戸東京博物館
史料叢書 4

四谷塩町一丁目町入用

発行日 平成十三年三月三十一日

編集 東京都江戸東京博物館
都市歴史研究室

発行 東京都
（財）東京都歴史文化財団

東京都江戸東京博物館
〒一三〇—〇〇一五

東京都墨田区横網一丁目四番一号
TEL 〇三—三六二六—九九一八（研究室）
FAX 〇三—三六二六—八〇〇一

印刷 合同印刷株式会社

ISBN 4—924965—29—4C—0021